プレスリリース

令和６年５月１３日
独立行政法人 家畜改良センター 岩手牧場

牧草（一番草）の収穫が始まります！

独立行政法人家畜改良センター岩手牧場（場長　関川　寛己）は、５月中旬から、牧草（一番草）の収穫を行います。

岩手牧場は、農林水産省所管の独立行政法人として、乳用牛の育種改良事業を行っており、飼養する約８００頭の乳用牛に給与する粗飼料を作っています。場内の約４２０ha のほ場には、牧草や飼料用トウモロコシを栽培し、乾草やサイレージとして、年間約８，０００トンの粗飼料を生産・利用しています。特に、牧草刈取始めの初日を「鎌入れ」と呼び、１年の収穫作業の安全と豊作を祈念する日となっています。

青空の中、山々を背景に牧草の収穫を行う風景は、酪農主産地である岩手県を代表するとても美しい風景です。鎌入れ後は、秋まで収穫作業が続きます。

＊　天候により収穫を行わない日もあります。取材を希望される場合は、家畜防疫の関係上、留意事項等を説明する必要がありますので、事前に下記担当者へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先
独立行政法人家畜改良センター岩手牧場
担当者：熊谷（くまがい）、上園（うえぞの）、阿閉（あつじ）
電　話：０１９－６４１－２１３０
ＦＡＸ：０１９－６４１－４７２５
ＵＲＬ：https://www.nlbc.go.jp/iwate/index.html